



特集

6次産業化における取り組みについて

担い手サポートセンター

6次産業化
高付加価値の農産物を販売
生産者の所得増大へ



6次産業化とは
農林水産業の1次産業、製造業の2次産業、流通・販売の3次産業の連携を強化し、農林水産業者の2次産業、3次産業への進出を増やし、農山漁村を振興することを目的に2010年11月に法整備され、国・地域が主体となり推進されています。生産者が生産・加工・販売を主体的に行うことにより、農産物に付加価値が付き、生産者の所得向上へと結びつきます。また、価格の変動が少ないため、安定した収入を得ることが可能になります。

6次産業化に取り組むことで所得増大だけでなく、地方における雇用の創出や、地域の活性化も期待されます。近年、6次産業化に向けた関心は高まっており、全国各地で意欲的な取り組みが見られます。



JAいわてグループの6次産業化支援対策事業の二環として「農産物加工特産品づくりセミナー」を継続的に開催しています。セミナーでの講義内容を参考に、自家産の野菜等を原料に使用したドレッシングを商品化し、地元の産直での販売を実現するなどの好事例も生まれています。

1. 農産物加工特産品づくり実践セミナー

JAいわてグループ担い手サポートセンターが事務局を担う「JAいわてグループ6次産業化促進対策連絡会」では関係機関と連携し、6次産業化に取り組む農業担い手を支援しています。商品販売する場の提供や、専門的な知識を得るためのセミナー開催等、多岐にわたる支援事業が実施されています。

JAいわてグループ6次産業化促進対策連絡会 6次産業化商品PRに向けて



純情産地発 クララー



contents

季節のエッセー いわたの野草 02
特集
 6次産業化における取り組みについて 03
 純情産地いわて30周年記念企画 06
 消費地だより 07

タイトルのKlara (クララー) は、宮沢賢治の手帳に記されている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。

銀河食堂info 07
 報告! 出向く活動班 08
 純情むすめ活動記 09
 純情人 09
 ニュースワイドアングル 10
 information 11

春の訪れを待ちかねて、まだ枯れ色をした野原へと足を運ぶ。すると、陽だまりでいち早くこの花が咲いているのに出会う。青空をそのまま映し取ったような鮮やかなコバルトブルーが、長い冬を耐えてきた目と、心にしみる。オオイヌノフグリは、北国に春を告げる花だ。その美しさに、思わず摘んでしまいたいそうになるが、オオイヌノフグリは触れるといとも簡単に、花ごとハラハラと散る。野原や道ばたなど、今ではいたるところに見られるオオイヌノフグリだが、もともとは明治時代にヨーロッパから渡ってきた帰化植物。そう思ってみると、今度はこの花のブルーが、金髪美人の瞳の色にも似つかわしく感じられる。

「オオイヌノフグリ」

(コマノハグサ科)

いわての野草

季節のエッセー

文・澤口 たまみ
 絵・永澤 美貴子

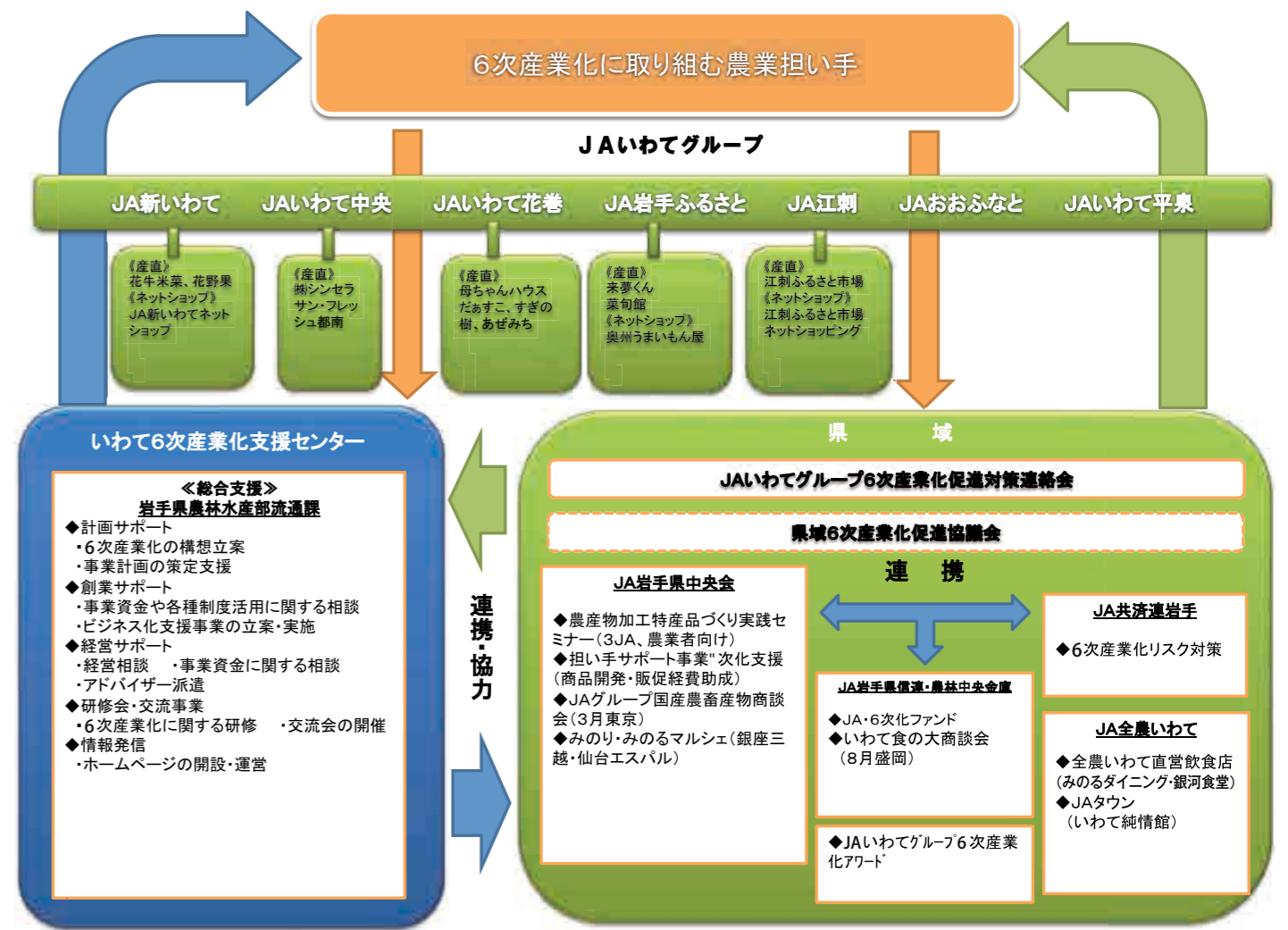
参考資料：澤口たまみ著「岩手の野草百科」(岩手日報社 平成18年4月20日 第7版発行より)

第13回JAグループ国産農畜産物商談会 出展団体

「第13回国産農畜産物商談会」に出店する岩手県内の団体とイチオシ商品を紹介いたします。

<p>農事組合法人宮守川上流生産組合 (JAいわて花巻)</p>  <p>山川TAC</p> <p>イチオシ商品</p>  <p>遠野とぶろく</p>	<p>農事組合法人となん / (株)兼平製麺所 (JAいわて中央)</p>  <p>玉山TAC</p> <p>イチオシ商品</p>  <p>純米めん</p>
<p>ひころいちファーム (JAおおふなど)</p>  <p>中村TAC</p> <p>イチオシ商品</p>  <p>米粉パスタスナック</p>	<p>農事組合法人となん / 砂田屋 (JAいわて中央)</p>  <p>小田島TAC</p> <p>イチオシ商品</p>  <p>盛岡豆っ米(枝豆)</p>
<p>農事組合法人門崎ファーム (JAいわて平泉)</p>  <p>藤野TAC</p> <p>イチオシ商品</p>  <p>門崎めだか米(特別栽培米)・ 門崎ホタル米</p>	<p>(株)JAグリーンサービス花巻 プロ農夢花巻事業本部 (JAいわて花巻)</p>  <p>菅野TAC</p> <p>イチオシ商品</p>  <p>からだよろこぶ 発芽玄米と黒米のごはん</p>
<p>農事組合法人アグリ平泉 (JAいわて平泉)</p>  <p>栗原TAC</p> <p>イチオシ商品</p>  <p>東稲山麓シールド</p>	<p>(株)JAグリーンサービス花巻 ハヤチネフーズ事業本部 (JAいわて花巻)</p>  <p>多田TAC</p> <p>イチオシ商品</p>  <p>岩手早池峰 のむヨーグルト</p>

JAいわてグループ6次産業化支援スキーム



2. 6次産業化アワード

今年度は、県内の6次産業化に取り組む生産者に対し、6次産業化商品の開発・販路開拓・販売促進の支援を目的に、初の試みである「JAいわてグループ6次産業化アワード」を平成30年に実施しました。応募総数33点の中から入賞作品7点選ばれ、大賞はひころいちファーム(村上二憲代表)の「米粉パスタスナック」が受賞しました。入賞作品は、県内JAの産直やネットでの販売機会、加工・流通専門家による販促アドバイスを得ることができ

3. 第13回JAグループ国産農畜産物商談会

JA全農、JAバンクが主催する「第13回JAグループ国産畜産物商談会」は、国産農畜産物やその加工品などの販路拡大を目的に、3月12日(火)・13日(水)に東京国際フォーラムにて開催されます。全国から生産者やJA、県連・県本部、JAグループ関連団体、農業

関連企業等が出展し、実需者との商談成立を目指して自慢の商品をPRします。昨年の商談会には147団体が出展し、来場者数は5244名にものぼりました。JAいわてグループにおいても幅広い商品を出展し、多くの実需者に広くPRし、販路を拡大しました。今年もJAいわてグループから8団体「TACの店」として出展します。「TACの店」では、日常的に担い手農家に向いているJA担当者「TAC」が、作り手の思いや商品の魅力、美味しい食べ方等をバイヤーにアピールし、出展者をサポートします。また、いわて純情むすめも各ブースで試食・試飲を担当します。いわての「TACの店」8ブースでは、生産者・TACいわて純情むすめがタッグを組み、商談の成約率向上を図ります。今後、JAいわてグループでは、6次産業化に取り組む生産者を様々な活動を通して支援してまいります。

きゅうり	フケ果の原因究明と発生防止 作型分散による出荷量確保・長期出荷の取り組み
トマト	高温期の過熟と終盤の低温による着色不良の対策 9月以降の出荷量確保
ミニトマト	裂果等クレームの発生防止 作型分散による長期出荷の取り組み
ピーマン	尻腐れの原因究明と発生防止 作型分散による出荷ピークの平準化
なす	トンネル・ハウス作型の拡大による出荷量確保・長期出荷の取り組み
大根	栽培管理の徹底と規格指導の強化による出荷量と品質の安定
キャベツ	定期的・安定的な出荷量の確保と規模の拡大
ほうれん草	天候不順による減収を食い止める対策 エリアに囚われない出荷体制の構築
ねぎ	JA間・生産者間での品質格差是正による県下統一レベルの底上げ 初夏取り作型の推進と長期出荷による固定客の確保
レタス類	出荷規格の徹底による評価の向上
アスパラ	促成栽培・半促成栽培に取り組み長期出荷することで固定客を確保 品質維持として予冷の徹底、発泡スチロールでのシーズン出荷
とうもろこし	シナビ対策の徹底
生しいたけ	9月中の増量により固定客を確保 夏場の品質向上のため予冷出荷の徹底
全般共通	精度の高い出荷計画・情報の提供 規格指導の徹底と検品体制の強化

11月26日(月)に「いわて純情野菜幹事会」が開催されました。この幹事会は、日頃から岩手県産野菜「いわて純情野菜」を扱ってくださっている京浜の重点市場7社「東京シティ青果株」「東京青果株」「東京在原青果株」「東京千住青果株」「横浜丸中青果株」「東京多摩青果株」「JA全農青果センター(株)東京センター」が幹事会社となり、販売内容はもちろんのこと、産地と消費地の繋がりを強固なものにするための協議や意見交換を行っております。今回の幹事会では、平成30年度の評価と次年度への提言を目的に協議

が行われました。協議の中から次年度に向けての提言を主要品目ごとに一部ご紹介いたします。29年度から改善された内容もありましたが、未だ各品目において提言(要望)が出てきております。新年度については、上記の提言を一つでも多くクリアできるよう、また、5月からは「新元号」となることから、心持ちも新たに園芸振興に携わっていききたいと思っております。



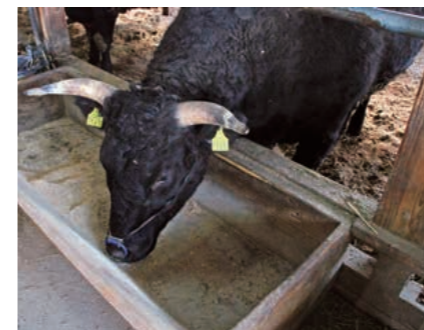
1月5日開催「大田市場初競り」の様子

純情ブランド消費地の「今」をレポートします。 消費地販売部 消費地だより



消費地販売課 藤原 一順

25歳になる年に就農し、今年で13年目を迎えます。その年はちょうど、地元の前沢牛



オリジナルブレンドの餌を食べています



息子さんと一緒にお手伝いをします

が早く評価されていて、その時に牛を高く売っている父の姿を見て就農を決意しました。元々、子どもの頃は楽しく牛舎作業の手伝いをしていましたが、成長するにつれ大変さが分かるようになり、自分には難しいと感じていきました。そのため特に農業の勉強はしてきていなかったのですが、頑張った分、収入を上げることができるとも魅力の一つだと感じました。

最優秀賞を受賞して



気さくで優しい克也さん

純情産地いわて30周年記念企画 “純情産地いわて”を 支え・育む力を インタビュー!!



奥州市前沢 佐藤 克也さん

今回は、奥州市前沢の肥育牛農家 佐藤克也さんにインタビューしました。克也さんは「第29回いわて牛枝肉共励会」に父・孝一さんとともに牛枝肉を出品し、最優秀賞を受賞しました。肉質4、5等級の上物率が94.9%とレベルの高い今大会において、最高評価を得たチャンピオン牛の生産者 克也さんに、受賞された思いやこれまでの歩みについてお聞きしました。

愛情を込めて育てること
父・妻とともに、55頭の牛を肥育し、年間で30頭前後を出荷しています。子牛の購入や肥育、出荷のタイミングなど全て自分に任されているので、「しっかりとやらねば」と責任を持って取り組んでいます。餌は牛の状態に合わせて自分でブレンドしたものを給餌し、どの牛にもこの餌をどの順番で与えるのか、1頭1頭の性格や状態を把握するようにしています。いつでもこの市場で買ったかについても1頭1頭しっかり覚えていきますよ。餌やりから牛の状態管理まで、牛の表情をしっかりと観察して行うことを意識することが大事だと考えています。

やりがいを感じるからこそ

今回のチャンピオン牛のように、賞を受賞するとやりがいを感じます。JA岩手ふるさと産直センター「菜旬館」で私が育てた牛の肉が販売された際、実際に食べてもらい、「美味しい」と言ってもらえたとき嬉しく思いました。大変なことは、1日も休まずに牛の管理をしなければならぬこと。どうしても家を空けなくてはならない時は、家族に牛の状況等を報告して引き継ぎしなければならぬので、そこが大

美味しいを届けたい

岩手県は、広大な土地と農作業に適した気候のため、幅広い農畜産物を生産している点が強みだと考えます。牛も黒毛和種、短角牛、ホルスタイン種と多くの種類が盛んに生産されていますよね。東京で行われた「いわて牛の集い」では、いわて牛を食べた東京の食肉市場関係者や買参人の方々に「岩手の肉は美味しいね」と高い評価をいただきました。課題としては、その美味しい岩手の農畜産物を、いかにして多くの消費者に食べてもらうことができるのか。「食」と「観光」を繋げていくことが重要になってくると感じます。また、これからは規模拡大も考えなければならぬ時代ですので、生産者のやる気や後継者の増加に繋がるような支援が増えてほしいですね。私の今後の目標は、牛の頭数を増やしていくこと、繁殖から肥育まで一貫した体制を取ることです。これからも愛情を込めて牛を育てていこうと思います。



2人の笑顔で牛舎内は明るい雰囲気でした

お弁当販売を開始しました!

銀河食堂info

お弁当販売
日時：平日 11時15分
場所：岩手県産業会館(サンビル)1階純情ステーションスペース
数量：1日20食限定(2種類)
価格：600円(税込)

また、お弁当のテイクアウトも承っております。お米は「金色の風」銀河のしずく」のどちらかをお選びいただけます。

テイクアウト
おにく弁当、おさかな弁当、豚のしょうが焼き弁当…各種750円(税込)

この機会にぜひ、会社やご自宅で「銀河食堂」の心温まる味わいをお楽しみください。

※写真はイメージです。

報告!



出向く
活動班



今回の報告者
担い手サポートセンター
出向く活動班

新沼 真也

株式会社JAおおふなとアグリサービス

今回は、JAおおふなとの子会社で、復興農地等の活用による農業振興・雇用創出による地域活性化・新規就農者等の人材育成と担い手育成に取り組んでいる「株式会社JAおおふなとアグリサービス」を紹介します。

〈概要〉

平成26年度に陸前高田市が事業主体となり「被災地域農業復興総合支援事業」を立ち上げ、園芸振興の拠点となる大規模施設園芸団地（高軒高連棟ハウス4棟・トマト11畝×3棟、いちご0.4畝×1棟）が設置されました。（株）JAおおふなとアグリサービスが市からこの施設の運営管理を委託され、平成27年1月からトマトを、同年9月からいちごの栽培が開始されています。



いちご栽培ハウス

設立	平成24年8月22日
資本金	8,500千円(内JAおおふなと:8,400千円出資)
組織体制	役員体制:代表取締役1名、役員2名 従業員数:33名(内JAからの出向者2名)
主な事業	①農地受託経営事業、②農作業受託事業、③JA利用事業受託事業、④農業経営実証事業、⑤観光農園・直売所経営としていますが、現在は②③④を主力に事業展開を実施しています。
経営内容	フルーツトマト:11,400㎡、いちご:3,888㎡、菌床しいたけ:660㎡(菌床しいたけの栽培棟は、H30年度より生産者2名に貸出し栽培を行っている。)
実績	平成27年度:96,500千円、平成28年度:105,000千円、平成29年度:102,900千円

新規就農者及び担い手育成事業の効果として、新規独立就農者1名、企業従事者1名(農産物加工販売メーカー)を創出すると共に、新規独立就農予定者1名を育成しています。また、地元被災企業従事者の雇用先として受入れており、着実な成果を上げています。

〈栽培の特徴〉

「トマト」
フルーツトマトの栽培は、土壌を使用せず高糖度の栽培ができることとされる「アイメック農法」を採用。品種は中玉トマトのフルティカを使用し、水分を絞ってミニトマトのサイズの濃厚で糖度の高い製品作りに挑戦しています。
定植は各棟により、5月上旬～7月中旬、8月下旬に分け、収穫期は9月中旬～翌7月上旬の10か月間収穫できる栽培体系を取っています。



フルーツトマト(フルティカ)



フルーツトマト栽培風景

「いちご」
いちごの栽培は、品種「紅ほっぺ」と「よつぼし」を採用。栽培方法は、岩手県が開発した「閉鎖型高設栽培システム」の養液栽培で行われており、定植は9月中旬～下旬に実施します。短日処理区と普通栽培区に分け、11月中旬～6月下旬が収穫期となっています。



いちご(紅ほっぺ)

「栽培環境」

大形連棟ハウスは、温度制御や炭酸ガス発生装置・点滴灌水システムによる養液栽培を導入しており、ITによる環境制御型の栽培を実施しています。

〈販売の特徴〉

首都圏の市場流通を基本とした商品名「恋するトマト」と、差別化商品として県内ユニバースが販売する「笑顔のトマト」とマイヤが販売する「ゆめぶちトマト」があります。また、秋田県のスーパーマーケット・タカヤナギや地元の産直コーナーでも販売されています。

〈今後の課題〉

栽培の課題としてトマト・いちご共に、安定した反収の確保が挙げられます。特にフルーツトマトに於いては、高糖度・高品質の生産が求められていることから、IT制御だけに頼らず植物体の生理生体を理解し、植物の変化を見抜く観察力の高い人材の養成が必要と考えられます。



ソフトバックに詰められたいちご
いちごのバック詰め

笑顔がはじける

純情むすめ
活動記



2018いわて純情むすめ

高橋 梨紗

「第29回いわて牛枝肉共励会に参加して」

1月23日(火)、東京都中央卸売市場食肉市場食肉市場にて「第29回いわて牛枝肉共励会」に参加しました。今までの活動で、何度か東京での業務をさせて頂いていた為、関係者や担当者の方たちが顔や名前を覚えていて下さり、「この間はこちらが」と声を掛けていただきました。純情むすめとして活動をしてきて良かったと、やりがいを感じました。また、今回のイベントは岩手県の誇る「いわて牛五ツ星」の品評会ならびに競売が行われるという事で、岩手県の関係者の皆様と共に、「わっしょい!わっしょい!」と声を出して盛り上げました。この日は、59頭の牛が競売にかけられました。この時は、改めて生命を頂くと言う事を深く考えさせられました。競売にかけられた牛は

平均で2〜3歳であるということを知り、いつも何気なく食べているお肉は大切に育てられた命であり、そのことに深く感謝しなければならぬと思ってきました。そして、私たち消費者に届くまで、生産者やJA、関係機関の皆さまのおかげで、美味しい食材を食べることができていると、普通に生活していれば、食材の値段しか気にしないところですが、純情むすめになり、直接生産者の方たちと接する機会が格段に増えた事で、その背景を知り、より地元を意識した買い物をするようになり、今までは産地という「国産」程度しか意識しなかったものの、「岩手県産」の文字を見つけたものも増えました。また、私たち純情むすめが直接消費者に農畜産物を手渡す架け橋になる事は、とても貴重な体験・経験に繋がると感じました。これからも、私たちが支えてくださる周りの方々や純情むすめのみならず、残された任期をより充実したものにし、笑顔いっぱい「いわて」をPRしていきたいです。



平均で2〜3歳であるということを知り、いつも何気なく食べているお肉は大切に育てられた命であり、そのことに深く感謝しなければならぬと思ってきました。そして、私たち消費者に届くまで、生産者やJA、関係機関の皆さまのおかげで、美味しい食材を食べることができていると、普通に生活していれば、食材の値段しか気にしないところですが、純情むすめになり、直接生産者の方たちと接する機会が格段に増えた事で、その背景を知り、より地元を意識した買い物をするようになり、今までは産地という「国産」程度しか意識しなかったものの、「岩手県産」の文字を見つけたものも増えました。また、私たち純情むすめが直接消費者に農畜産物を手渡す架け橋になる事は、とても貴重な体験・経験に繋がると感じました。これからも、私たちが支えてくださる周りの方々や純情むすめのみならず、残された任期をより充実したものにし、笑顔いっぱい「いわて」をPRしていきたいです。

JA全農いわての
純情人

じゅん じょう びと

趣味・特技

趣味: 掃除、整理整頓、絵画鑑賞、読書、森林浴等心を整える行為
特技: バレーボールネットの組み立て・片づけ、体育館のモップ掛け、寒さに強い

現在の担当業務

農薬受渡業務、期限切れ農薬処理に関する業務、米麦用紙袋受渡業務、見通し作成作業

これからどんな職員になってみたいか

入会してから約1年が経とうとしていますが、人と人とのつながりが非常に強い職場だと感じております。今は業務に対して戸惑いや失敗も多いですが、これからはこの経験を糧に成功体験を増やしていきたいと思っております。

その他アピール

よく名前の漢字「朗」を「郎」と間違われます。慣れているとはいえ、少し傷ついているのも事実です。入会してから会議の名簿で数回間違いを発見しているので、どうしたら間違わないのか常に自問自答しています。その結果、インパクトある職員になる必要があると感じました。これからは記憶にも記録にも残る職員になれるよう頑張っています。

趣味・特技

音楽鑑賞、旅行

現在の担当業務

製品受け渡し業務を担当しています。主に農協から発注を受け、それを基にメーカーと価格の交渉を行います。その後のメーカーへの支払いや農協への請求などもしています。その他に製品推進チラシの作成や製品在庫管理、製品倉庫管理、日締め処理などを担当しています。

これからどんな職員になってみたいか

職員、農機センターの皆様から信頼され、農業機械課のプロフェッショナルと呼ばれるような職員になりたいです。



資材部 肥料資材課
ほその ゆうたろう
細野 雄太郎さん



農業事業部
農業機械課
たかむら せいや
高村 聖弥さん

「JA全農COUNTDOWN JAPAN」出張生放送

ラジオ番組「JA全農COUNTDOWN JAPAN」の出張生放送が岩手県で行われます！パーソナリティのジョージ・ウィリアムズさん、安田レイさんがゲストを迎えトークを交えながら、毎週のヒットチャートランキングを紹介する音楽番組です。当日は安田レイさんのミニライブや、プレゼントが当たる「じゃんけん大会」なども行われます。リスナープレゼントもありますので、ラジオでのご視聴もお楽しみください！

放送局 TOKYO FM(株式会社エフエム東京) **放送日** 毎週土曜日13:00~13:55

放送概況 TOKYO FMをキーステーションにJFN38局ネットにて半蔵門スタジオより生放送

<出張生放送>

日時 平成31年3月9日(土)13:00~13:55 **場所** 「イオンモール盛岡」内イーハトーブ広場

出演者 パーソナリティ:ジョージ・ウィリアムズ、安田レイ
ゲスト:未定

わんだふお〜パーク

(株)テレビ岩手主催の「わんだふお〜パーク」が今年も開催されます。JA全農いわてからは米穀販売課が出展します。また、2018いわて純情むすめによる「純情体操」の披露も！ぜひ、会場にお越しください。

日時 3月30日(土)、31日(日)9:30~16:30
(入場は16:00まで)

場所 岩手県産業文化センター アピオ

純情体操 30日(土)14:30~ ステージにて



昨年の「わんだふお〜パーク」の様子

秋冬寒玉系キャベツの名称(愛称)募集!

JA全農いわてでは、寒さの入りやすい岩手の気候条件を利用し、寒さにあてるとキャベツの甘みが増すという特徴を生かした、11月以降収穫型の寒玉系キャベツのブランド化を推進しています。夏場の春系キャベツ『いわて春みどり』のように、皆様に長く親しんで頂けるような名称(愛称)を募集致します。なお、採用案を考案していただいた方には、商品券のプレゼントを予定しております。



秋冬寒玉系キャベツ生産者の皆さん
「素敵な名称お待ちしております！」

応募の詳細は、JA全農いわてホームページをご覧ください。

これぞチャンピオン牛!

平成31年1月22日(火)

第29回いわて牛枝肉共励会

1月22日(火)に東京都中央卸売市場食肉市場にて「第29回いわて牛枝肉共励会」が開催されました。この共励会には子牛が岩手県生まれで、最長飼養地かつ最終飼養地が岩手県の黒毛和種肥育牛が出品されます。当日は新岩手農協11頭、岩手中央農協4頭、花巻農協12頭、岩手ふるさと農協16頭、江刺農協4頭、いわて平泉農協12頭の計59頭が出品されました。59頭中、45頭が5等級(いわて牛五ツ星)に格付けされ、上物率は94.9%とレベルの高さを見せました。

中でも最優秀賞に輝いた岩手ふるさと農協の佐藤孝一さん・克也さん親子の枝肉は、出荷体重830kg・枝肉重量557kg・BMSNo.12(サシの入り具合を示し、No.12は最上級)であり、1kg当たり最高5,005円という史上最高値が付けられました。モモ・ロースの張り、肩の厚さや肉付きも良く、ロース芯面積90cm²・バラの厚さ9.9cmと無駄脂もなく歩留まりも良い枝肉で、肉の光沢が素晴らしく、サシの入りも粗すぎずに小サシも入り、脂も光沢があり硬すぎない良質な肉質でした。59頭の中でも群を抜く枝肉で、満場一致での最優秀賞受賞となりました。

最優秀賞を獲得した枝肉は2月8日(土)~28日(木)の期間に、純情産地いわての店「みのるダイニング」にてメニュー提供され、上質ないわて牛の味わいを求めた多くの人に、好評を博しました。



最優秀賞を獲得した佐藤克也さん

良質な牛乳生産をめざして

平成31年2月13日(水)

平成30年度岩手県乳質改善大賞表彰式

岩手県乳質改善協議会は、2月13日(水)に盛岡市内のホテルにて「平成30年度岩手県乳質改善大賞 表彰式」を開催しました。この表彰式は、消費者の「食の安全・安心」への関心が高まる中、日々生乳生産技術の向上に努め、継続的に高品質な生乳を生産している農家を表彰し、本県の乳質の更なる向上を図ることが目的とされています。

当日は県内酪農関係者68名が出席し、19名の受賞者に賞状が手渡されました。受賞者には年間出荷乳量や乳質、乳成分などの厳しい基準を満たした農家選ばれます。岩手県乳質改善協議会藤村明智会長(JA全農いわて副本部長)は、「消費者の食に対する関心はますます高くなっています。一丸となって高品質な牛乳の生産を目指していきましょう」と述べました。

また、一関農業改良普及センター 永田早紀氏による「平成30年度岩手県獣医畜産業績発表会」知事賞受賞演題の発表も行われ、乳質改善に向けての取り組みが共有されました。



更なる乳質改善に向けて挨拶を述べる藤村会長



「平成30年度岩手県乳質改善大賞」受賞者ら

食べて当たる!新米キャンペーン

平成31年1月25日(金)

JA全農いわて いわて純情米 新米キャンペーン抽選会

JA全農いわては、1月25日(金)に「JA全農いわて いわて純情米 新米キャンペーン」のクローズドキャンペーン抽選会を行いました。このキャンペーンは、昨年10月1日(月)~12月31日(月)の3か月にわたって開催。クローズドキャンペーンとモニターキャンペーンを同時開催しました。応募総数はクローズドキャンペーン24,889件、モニターキャンペーン3,383件と多くの方にご応募いただきました。

クローズドキャンペーンは、岩手県産米5kg以上の商品に貼付されている対象シールを専用はがきに貼り応募すると、抽選で商品が当たる内容になっています。厳正なる抽選の結果、「選べるお肉コース」計50名、「選べるプレミアムコース(電化製品)」計20名の当選者を選出し、商品を発送しました。※当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。



抽選を行う米穀部松田部長(左)



たくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。



編集
後記

ついに3月です。入会1年目の私は「純情産地いわて30周年」を通して貴重な体験をすることができました。次年度は、本会における次期3か年計画の初年度・新元号の制定等、「スタート」の年になります。私の目標は、「対外的な広報活動の充実化」と「早起き・自炊・趣味の充実化」です。「挑戦」の姿勢が重要になりそうです。次年度もよろしくお願いたします!

(井戸川)

火入れと野焼きに注意!!

県内で林野火災多発中!

出火原因の6割を占める「火入れ・野焼き・たき火」を行う際は十分に注意しましょう!周囲の農家への注意喚起も忘れず!!



森林1km内は火入れ許可必須!
林野火災を発生させると罪に問われることもあります。大切な命・資源のためにも充分にお気を付け下さい。



JAバンク岩手



給与振込はJAバンクで

2019

春のスタート応援 キャンペーン

2019年 3月1日(金) ▶ 5月31日(金)

給与口座で!

JAで給与振込口座を新たにご指定いただくと
もれなく全員*に下記のどちらかをプレゼント!

QUOカード
1,000円分



金色の風(3合パック)&
白金豚肉みそセット

いわての食で
健康を応援!



*2019年3月から6月までのいずれかの月において、3万円以上の給与のお振込みが確認できたお客様。

この機会に!

給与振込ご指定以外の方も新規お申込みでプレゼント!

JAカード

公共料金

JAネットバンク

先着県内合計
1,500個

1つのお申込みにつき1点先着で3つの景品の中からお選びいただけます。(1人最大3個まで)

たっぷり収納!
バッグインバッグ



マルチに使える!
スタンドポーチ



泉州産はんどたおる二枚組



色をご指定いただけませんので、ご了承ください。

<全員プレゼントについて>

●新たに給与振込口座をご指定し、2019年3月から6月までのいずれかの月において、3万円以上の給与のお振込みが確認できた方もれなく全員に、「金色の風(3合パック)+白金豚肉みそセット」または「QUOカード(1,000円分)」のどちらかをプレゼントします。●JAバンク岩手プロジェクトキャンペーン2019景品申込書にて希望の景品をお選びください。●景品はお申込みの翌月以降に運送します。

<この機会に>

●給与振込口座をご指定された方、新たに口座を開かれた方、JAと既にお取引がある方がJAカード、公共料金の口座振替、JAネットバンクのうち1つ以上新たにお申込みいただく、「たっぷり収納バッグインバッグ」「マルチに使えるスタンドポーチ」「泉州産はんどたおる二枚組」の3点の中から1つのお申込みにつき1点先着でプレゼントします(1人最大3個まで)。●公共料金は、①電気料金、②ガス料金、③水道料金、④NHK受信料、⑤電話料金が対象となります。●個人の方に限りご応募いただけます。●景品がなくなり次第終了させていただきます。●詳しくは、お近くのJAバンク窓口までお問い合わせください。



私たち全農グループは、
生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋
になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA 全農いわて 総合企画課
JA 全農いわてホームページ

〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL019-626-8615 FAX019-653-6145
<http://www.junjo.jp>

